### 第1回支部長会議事録

- ■日時: 2024 年 8 月 10 日(土)13:00~15:00
- ■場所:横浜市民防災センター1F 研修室
- ■司会:青葉区支部陸川(支部長会担当理事)
- ■書記:金沢区支部南晴(支部長会副担当理事)
- ■参加者:

鶴見区田中支部長、神奈川区高崎支部長、西区今井支部長、中区鍋倉支部長、南区山田支部長、 港南区太田支部長、保土ヶ谷区中田支部長、磯子区片山支部長、港北区渡辺支部長、港北区西 山副支部長、緑区山岸支部長、戸塚区合場支部長、瀬谷区吉澤支部長、栄区加峯支部長、泉区 川畑支部長、青葉区上野支部長、都筑区松永支部長

五木田会長、鈴木副会長、酒村理事、松永理事、日暮監事

## ■式次第

支部より)

南区支部からの報告

本部より)

通信テスト詳細

防災フェア

防災訓練

電波使用料(再免許)報告

宿題事項について

フリートーク

### ■議事詳細

### (1)南区支部からの報告

JJ1AKB 山田支部長 添付資料 1 参照★

人数:一時期 100 名程度いたが、今はアクティブ 26 人、25 拠点+区役所

⇒ かろうじてカツカツで運営している

直近の拠点訓練:南が丘中学校にて区役所との情報伝達訓練@防災訓練

⇒体育館の中で煙の中で歩く訓練

通信テスト(11月)について

問題点:区役所の中の無線機やケーブルが雑然としている SWR メーターやダミーロード等個人的なものを使用 マイクの中の基板の調子が悪く、一時通信不能となった マイクの調子については不安定のまま運用 1200 まで対応できる SWR メーターなどを個人的に準備している メリット交換の際にわかったこと

> スタンドマイクのなかの基板の調子が悪いので何とかしたい 使えるときと使えない時があるので、区役所のリグ・マイクを運用 ID1、加水分解により劣化しているが、(仮復旧済み)

他都市のアマチュア無線非常時協力体制(興味を持って JARL 情報から調査)

山梨県の場合、地域登録クラブ個々での協力(南アルプスアマチュア無線クラブ等) 地域クラブの中で有志が催し物や防災訓練に参加している JARL 千葉県支部:千葉県船橋市の地域クラブ、市長から表彰状(感謝状)あり 横浜市ほど全面的に市とかかわりあって体制を整えているところはない模様

#### まとめ

当会(協力会)は歴史が長いが、無線機等の老朽化の問題などについて 市との連絡に時間がかかる。もっと意思疎通を速やかにしたい 本部で予備機を準備するなどできないか 対策や方策を市の担当者と会話したい 市の担当の方と話がしたい(市経由で区と話したい) 会員の技術力向上(アンテナなど)のセミナーを(本部に)考えてほしい 横浜市がイイという話は通っている 高齢化対策や技術力向上を考えなければならない 他都市との交流したい 防災フェアにも協力したい

支部からの報告次回 港南区支部(11月23日土曜日) 支部からの報告次々回 保土ヶ谷区支部(2月)

#### (2)通信テストについて

がか?

通信テスト担当理事 酒村さん 添付資料\_2、3 参照★ 7/17 市役所にて通信テストの説明を行った(十分に説明した) 11/8(金)AM 実施で正式決定(市には申し入れするも、平日に決定した) テストでは、145.14MHz, 438.14MHz, 1295.14MHz を使用 また、438.14MHz を連絡波として使用。市役所局 JR1YWC 各区役所との立ち入り調整をお願いする(市を通じて区に連絡済み) 11/8 は平日開催となるが仕方ないと思う 通信テストのみならず横浜市の個人局にどこまで届くのか調べたいという意見あったが、いか

⇒ 地域防災拠点と個人局で連絡をとればよいかと考えるため今回は見送りとした。

南区支部山田:フォーマットは前回と同じであれば SWR メーターあるのか? 測れない区はどうするのか?

会長より

定在波計を全部の区に配るのは無理なので、市役所で保管して貸し出す方法を検討中 購入するのも予算申請はしている(7/E の申請期限に間に合うよう)

危機管理室の予算として申請している

南区より この場で 1200 の SWR 必要な区は何台あるか、今調べてほしい 回答=港南区、中区、都筑区、保土ヶ谷区

アンテナの SWR を測るのは難しいので、参考でいいのでは? 通信ができるかどうかが重要では? 過去何年か測ったところで、それによって通信ができるようになるわけではない 1200 は期待していない使わなくてもよいかもしれない リピーターを使えば、ハンディ機でも十分使えるので考えていきたい

都筑区は 1200 を非常通信に使っている(ID-1) ⇒ケーブルのロスを測るぐらいにしか使っていない それよりも市役所がデータをどのように見ているのかの方が重要と思う

⇒市役所が見た結果をフィードバックしてもらうようにしてほしい

通信訓練でレポートを全項目埋める必要はない、測定できないところは不要としては?

⇒ 9月に案内を出す際に理事の結論を連絡する★

市役所の担当者の本質はアマチュア無線がカリフォルニア地震でうまく行った その時の協定により、地震があったときにメール等で連絡している。 情報収集の仕方は通信テストとは別に理事会で市と議論してほしい。

11/8 AM で日付が決まったことは市役所から区役所に知らせてある

### (3)横浜防災フェア

9/7-8 1030-1700(両日)@赤レンガパーク 配布資料あり(8/10 版) 港北区支部は高齢化が進んでおり応援をお願いしたい。 両日、11-12 時、430 にて(会場局を呼んでもらうイベント)をおこなう。★ 不特定の局とも通信を行う

8日、西区では訓練をやっている431.76で900-1200訓練しているので受信してみては。 特小体験を行う

モールスの操作体験を行う(金沢区支部ウケてた)自分の名前を打ったりできる

### (4)横浜市総合防災訓練

緑区支部長 山岸さん

9/29 1000-1130 公開運用

439.66MHz 各支部と交信したい YR1YWO/1 各支部に伝えてほしい★

#### (5)電波利用料(各区役所免許更新)

電波利用料の告知書が9月ごろ免許人に送られてくるので告知書だけを市役所に送る★ 注意事項等は中に紙を入れておく 納期限が短いので速やかに対応願いたい

#### (6)総会宿題事項説明

本部理事陸川より説明 添付資料\_4 にて説明★ 役割のページについて

市役所、本部、支部長の役割が明確になってよかった
市側からのリクエストもあるはず。市で情報をどう使うのか、不明
\*\* 市からのフィードバックがないからよくわからない \*\*
(この図の)今後、市の役割、情報の扱いについては確認を続けていただきたい
昨日今日と地震が起こっているが、市としてどう考えているか
区から各拠点の運営委員長あてに連絡が来ているが、本部には来ていない。
本部にも市から連絡があればよかったが、本部にルートがないのかもしれない
横浜市では震度5強が発生すれば拠点開設されるように動いている。
南海トラフの通達はどこまで行ってるのか?
中区では区役所から拠点運営委員長に連絡がきた

### (7)フリートーク

#### 西区:

JARL 横浜西クラブと公園の許可もらって FD コンテスト出た 社協で手続き⇒補助金がもらえる防災関連事業(地区防災訓練を除く)となる 机・椅子・発電機なども補助を受けた。交番にも届けた。 交信体験をすればいいのでは?? お金が出たら報告する

#### 青葉区:

地域の無線クラブ4団体で記念局をやっている 地域イベントでの HF の受信体験などに興味を持っている 体験だけで 350 運用 QSL カード記念品として喜ばれる = 区役所などへ宣伝している

### 戸塚区:

交信体験やっている。夏休みの小中学生対象 地区センター主催で交信体験会をやっている CW 練習体験

icom が受信機貸してくれた 盆踊りでも交信体験する 体験運用は無料であることを強調!

### 中区:

公開運用・体験運用 7名ー>30名まで増えた 中区の広報誌にも乗せた 高齢化は進んでいる アットホームに運営している(懇親会が多い)

### 会長:

横浜防災フェアでモールス、親子連れで興味がある 港南区のハムショップが親子にモールス練習機あげた また親子が防災フェアに来ると思う

次回支部長会は 11/23(土)1500-1630 次回理事会は同日 1300-1430

## <各支部・会員各局への依頼・連絡事項>

- 1. 防災フェア(9/7-8)での公開運用(1100-1200、430MHz)の呼出し
- 2. 総合防災訓練(9/29 1000-1130 439.66MHz YR1YWO/1)の呼出し
- 3. 電波利用料の告知書だけを市役所へ送る(支部長会にて封筒渡してある)
- 4. 次回支部長会は 11/23(土)1500(時刻について要確認)
- 5. 通信テストでは SWR 計測等、実施できない項目については N/A と記載する。

# <本部の(新たな・引き続きの)宿題事項>

1. 通信テストの結果について市からフィードバックをもらう

- 2. 今回の南海トラフ警戒について、地域防災拠点の運営委員長へは
- 国  $\Rightarrow$  県  $\Rightarrow$  市  $\Rightarrow$  区のルートで連絡が来ている。非常通信協力会へも連絡が来るべきでは?
- 3. 通信テストの SWR 計測等、実施できない項目の書き方を明確にする。(9月初めの通知までに)
- 4. 非常通信における 1200MHz の使われ方について方針を決める。

以上